

特別の教科 道徳（小学校）

発達の段階に応じた道徳科の指導

西部教育局
お役立ち情報
令和7年5月号

道徳科でいう発達の段階とは、右の図でいうと、氷山の下の部分に当たります。同じ内容項目でも、発達の段階を意識することで、発問やねらいが明確になります。

『雨のバス停留所で』を中学年で授業をすることを想定して、考えてみましょう。
※文部科学省『わたしたちの道徳 小学校3・4年』参照

C 主として集団や社会との関わりに関すること

12 規則の尊重

[第1学年及び第2学年]

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

[第3学年及び第4学年]

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

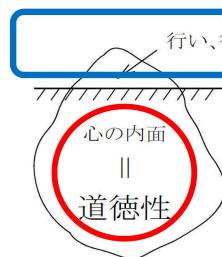
[第5学年及び第6学年]

法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P.50、51



参照:Nits独立行政法人教職員支援機構
「発達の段階に応じた道徳科の指導
畿央大学 島 恒生教授」より



規則やルールを守る。

なぜ、規則を守ることが大切か。
規則とは何か。

例

低学年 みんながいい気持ち

中学年 みんな同じ願いや思いがある

高学年 権利があり、義務がある

中心発問例

どの発問にしようかな…



- ①よし子は、何が間違っていたのでしょうか。
- ②黙ったままのお母さんは、何を考えていたのでしょうか。
- ③黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんな気持ちだったのでしょうか。
- ④黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑤自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑥早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客様とで、何が違ったのでしょうか。

①は、順番抜かしをしたらダメだという分かり切ったことだな。
②は、主人公ではないお母さんに関する中心発問になっているな。
③と④は、「気持ち」か「考え」かの違いだな。気持ちよりも考え方を問いたいな。
でも、「お母さん」という言葉が入っているので、子どもたちがそちらに引っ張られ混乱しそうだな。
そうなると、⑤か⑥かな…。



⑤か⑥となったとき、発達の段階から、次のように考えることもできます。

⑤自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょうか。

他のお客さんに嫌な思いをさせた。次からは並ぼう。

- ・ルールやきまりを守らないと、みんなに嫌な思いをさせてしまう。
- ・ルールを守れば、みんながいい気持ちだから、守ることが大事。

低学年

教材の状況



登場人物が感じたことや考えたこと

道徳的価値に対する感じ方や考え方、生き方

⑥早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客様とで、何が違ったのでしょうか。

早く乗りたいし、座りたいから、走ろう。
みんな並んでいるから、並ぼう。

・みんな、同じ願いや思いがある。それらをきちんとかなえていくために、ルールやきまりがある。

中学年

この題材での「きまりの意義」とは…

ねらい（例）

よし子とお客様の思いを考えることを通して、みんなに、安心で楽しく生活したいという思いがあり、それを実現するためにきまりがあることを理解し、それらを守ろうとする態度を養う。

令和7年度 第1回鳥取県道徳教育研究協議会

6月10日（火）米子市立大篠津小学校

第6学年 教材名「ロレンゾの友達」
(B 友情、信頼)

5月中旬頃
通知予定

●授業者 米谷 純 教諭

●指導助言及び講演 堀田 龍次 教育課程調査官